

Sonus

## G2M ユニバーサル・Guitar-to-MIDI コンバーター

日本語取説

2008年11月版

G2Mをお買い上げ頂きましてまことにありがとうございます。G2Mを有効利用する為に、本マニュアルを充分にお読みになってからご使用下さい。

### What is the G2M? (G2M とは)

G2Mは簡単でとても便利な **Guitar-to-MIDI** コンバーターです。ギターに特別なピックアップを装着する事なく、通常のギターエフェクターやチューナーと同じようにシンプルにお手持ちのギターに接続するだけで機能します（モノフォニックですので、コードには対応しておりませんのでご承知おき下さい）。

正確で遅れの少ないトリガー、そして **plug-and-play** のモノフォニック **MIDI** ギター・ソリューションとしてデザインされています。ベースやギターソロのシーケンス入力、ライブパフォーマンスでの使用など、新たな演奏方法の可能性を提供します。

### Power (電源)

9VのPP3バッテリー（電池）駆動で、バッテリーは1個同梱されています。バッテリーをバッテリー収納部分に極性を合わせて装着して下さい。極性を逆に装着すると、本機にはダメージがありませんが、動作致しませんので、取り付けの際は正しい極性である事をご確認下さい。

低電力消費仕様ですので、1個のバッテリーで長時間連続使用が可能です（通常おおよそ70時間）。バッテリー残量が少なくなると、本機の **LOW BATTERY** の **LED** が点灯します。この状態ではすぐにバッテリーを交換する必要はなく、G2Mは通常動作致します（この時点でスペック通りの動作は保証できませんので、新しいバッテリーに交換することをお奨め致します）。バッテリーが完全になくなると **G2M** は動作しなくなりますので、その際はバッテリーを新しい物に交換下さい。レコーディングセッションや、ライブでご使用

される場合は、誤動作を避ける為に、**LOW BATTERY** の **LED** が点灯したら、バッテリーを交換するようにして下さい。

**G2M** は側面の **GUITAR** ジャックにケーブルが接続されると電源が入ります。バッテリーの無駄な消費を避ける為に、ご使用されない時は本機からケーブルをはずしておくようにして下さい。

## OPERATION (操作)

**G2M** の操作はとても簡単です。

- お使いの楽器(ギター)を **GUITAR** ジャックソケットに接続して下さい。**POWER LED** が点灯します。
- 外部 **MIDI** 機器(もしくはコンピューターなど **MIDI** 入力のある機材)を本機の **MIDI OUT** ソケットに接続して下さい (本機から送信される **MIDI** 信号は **MIDI** チャンネル 1 にプリセットされており、**MIDI** 送信チャンネルの変更は出来ません)。
- お使いのギターのボリュームを調整して、演奏中 **CLIP LED** が時々点灯するレベルに合わせて下さい。(使用中 **CLIP LED** が全く点灯しない、もしくは常に点灯している場合は入力レベルを **G2M** に合わせて調整する必要があります。本機の **BOOST** 機能を使用したり、入力ソースの出力レベルを調整するなどして、**CLIP LED** が時々点灯するようにして下さい)
- 内蔵チューナーを使用して、お使いのギターのチューニングをチェックする事も出来ません (標準の **EADGBE** ギター・チューニングとなります)。
- これで接続は完了、ギターを弾けば **MIDI** 信号が外部 **MIDI** 機器や **MIDI** シーケンサーに送信されます。

## BOOST (ブースト)

お使いのギターの出力レベルが低い場合、本機の **CLIP LED** は通常点灯しません。その場合、**BOOST** スイッチを **BOOST** 側にスライドさせて入力レベルをあげる事が出来ます。

## TUNER (チューナー)

**G2M** にはギター・チューナーが内蔵されています。**PULSAR** チューニングテクノロジーを使い、**POWER LED** がチューニングインジケータ機能を兼用しています。この画期的なチューナーは、正確で素早いギターチューニングを可能とします。

ギターケーブルが本機の GUITAR ジャックソケットに接続されており、入力信号が無い場合、POWER LED は点灯し、電源が入っていることを示しています。入力信号がある場合（ギターを弾いた場合など）、POWER LED は点滅し、チューニングが行われている事を示します。

チューニングがずれている場合、LED は速く点滅します。チューニングが正しいピッチに近づくと LED の点滅スピードは遅くなり、完全にチューニングされた場合、LED 点灯します。通常、LED の点滅スピードが 1 秒に 1 回より少ないペースまで遅くなれば、ほとんどの場合、通常使用では問題無くチューニングされていることを示します。

通常低い音よりチューニングを開始し、じょじょに高い音を合わせていく事をお奨めします。又ピッチがあうに連れてゆっくりとピッチを上下させる事により、ピッチが上に行きすぎたり、下にさがりすぎることが少なくなります。本機のチューナー精度は正確な為、チューニングを正確に合わせる為には、ゆっくりと音程を合わせていく事が必要となります。操作に慣れてくれば、簡単にまた正確にチューニングする事が出来るようになります。

#### Instrument Thru (インストゥルメント スルー)

お使いの楽器のオーディオ出力を他の音響機器や、ギターアンプなどに接続する場合、本機の THRU ジャックから接続して下さい。G2M はハイインピーダンス入力ですので、G2M を使用していても、お使いの楽器の音に影響を与えません。

#### MIDI (ミディ)

MIDI 機器への接続を簡単に行う為に、G2M は標準 5-Pin MIDI コネクターを装備しています。本機は外部 MIDI 機器へ標準 5V の電源供給も行いますので、MIDI Merger や Message Filter など 5V 電源供給の必要な外部 MIDI 機器への電源供給が可能です。

ピッチベンド・レンジに関して、ほとんどの MIDI 機器に合わせて、G2M もフルスケール ± 2 セミトーンに設定されています。お使いの MIDI 音源を正確にチューニングされた状態で発音させる為に、念のため MIDI 音源のピッチベンド・レンジが ± 2 セミトーンに設定されている事をお確かめ下さい。

又スペシャルエフェクト効果を得る為に、あえてその他のピッチベンド・レンジに設定することも出来ます（設定方法はお使いの MIDI 音源によって異なります）。

ピアノ、エレピ等、外部音源の音色によってはピッチベンド情報を送信しない方が、よりオリジナルに近い音色で演奏することが出来ます。G2Mは常にピッチベンド情報を送信しますので、この場合、外部音源側の MIDI フィルター機能などを使用して、ピッチベンド情報を受信しないように設定するとより快適に演奏出来るようになります。

### Carry Strap (キャリー ストラップ)

本機側面の GUITAR ジャックソケットの隣に、キャリングストラップを付ける為の穴があります。手首に付けたり、首から下げたり、両手が使えるように工夫してお使い下さい。

### Usage Tips (使い方のコツ)

お使いのギターの出カレベルが最適になるように G2M の CLIP LED が時々点滅するレベルに調整して下さい。CLIP LED が時々点滅することは G2M のパフォーマンス上まったく問題ありません。ギターからの入力レベルが高ければサステインが効いた長いノートを演奏する事が可能です。ただし CLIP LED が常に点灯する事は避けて下さい。BOOST スイッチを利用して、お使いのギターのレベルと最適になるよう調整下さい。

ギターを演奏する際、ピッキングする手で弦を軽くミュートするようにすると、ミスノートを MIDI 変換してしまう事を軽減できます。また早いフレーズを弾く際も、弾いている音の減衰(サステイン)を早めること(弾いた後、ミュートする等)で、G2M のトラッキングスピードが改善されます。

G2M はベースラインのシーケンスの打ち込みに最適です。その際、低い音程の弦で早いフレーズを弾くと、遅れが気になる場合があります。その場合、ギターの高い音程の弦を演奏し、音源側でトランスポーズをかけて音程を下げて発音させることによりパフォーマンスは大幅に改善されます(トランスポーズのかけ方は音源によって異なりますので、実際の設定方法は音源の取説をよくお読みになって下さい)。

演奏したいソロのスピードが速く、正確に弾くことが難しい場合、G2M を使ってシーケンサーに遅いテンポでシーケンス録音し、再生する際にテンポをオリジナルスピードに戻せば簡単に早いスピードのソロをシーケンス録音する事が可能です。この場合、演奏したソロフレーズは MIDI データに変換されている為、再生スピードを変えてもピッチ(音程)に影響を与えません。

もし間違った音程やオクターブが発音されてしまう場合、下記を試してみてください。改善

する場合があります。

- Neck に一番近いピックアップを選択してみてください。
- ギターにトーンコントロールが付いていれば、トーンのレベルを調整することにより G2M の反応が改善される場合があります。
- 通常ギターを演奏する方法とは、違ういろいろなスタイルで演奏することを試してみてください。ギターの演奏方法は個人個人で異なる為、個性にあった演奏方法で G2M から一番良い反応を得られる演奏方法を試してみてください。

G2M はお使いの楽器を正確に MIDI 変換するので、お使いの楽器がきちんとチューニングされていないと、結果もチューニングがくるってしまいますのでご注意ください。

### Recommendations (推奨)

本機をお使いにならない時は、常にケーブルを本機から抜いておいて下さい。バッテリーの無駄な消耗を防ぎます。

環境保護の観点から、G2M を頻繁にお使いになるお客様はリチャージャブル・バッテリーをお使いになる事をお奨めします。

本機を長期間ご使用にならない場合、バッテリーを取り外す事をお奨めします。バッテリーが長期間使用されない場合、腐食剤などが漏れて本機が使用出来なくなる場合があります（この場合保証適用外となります）。

G2M を雨もしくは湿気の多い場所でご使用にならないで下さい。本機のパフォーマンスに影響が出る可能性があります。万が一そのような場所で使用してしまった場合、再度ご使用になる前に、必ず本機を完全に乾かして下さい。

### Warranty (保証)

日本国内でご購入された G2M のみ、ご購入日から 1 年間の保証となります。詳しい保証内容は別紙保証書を参照下さい。

### Community (コミュニティー)

Sonus の製品関係の情報をご覧になりたい場合下記、Website を参照下さい。

[www.sonuus.com](http://www.sonuus.com)

[www.kohske.com/sonuus/](http://www.kohske.com/sonuus/)

様々な情報を共有する為に、下記のユーザーフォーラムにご登録することをお奨めします  
(英語のみ)

[www.sonuus.com/forum](http://www.sonuus.com/forum)

### Specifications (仕様)

電源	10mA 9V PP3 電池駆動
チューニングノート	E2, A2, D3, G3, B3, E4
チューナー精度	1Hz 周波数帯域で 1 セント以下
ノート検知範囲	E2 から E6  (上記の範囲外の音程も検知しますが、使用上のパフォーマンス精度は保証いたしません。)
MIDI レーテンシー	16ms から 30 ms (ただし音程と入力信号の種類によって異なります)
MIDI パワー	5V (200Ω resistor as per MIDI specification)
サイズ	83 mm x 58 mm x 34 mm
重量	80g (電池非装着時)
入力	6.35mm 標準モノジャック (ジャック挿入時に常時電源 ON)
出力	6.35mm 標準モノジャック (入力端子より直接出力) 標準 5 ピン MIDI DIN ソケット

上記仕様は事前の告知なしに変更されることがあります。

Sonuus、G2M、PULSA は JHC Software Limited と Wired Audio Technology Limited の登録商標です。

© Copyright 2008 JHC Software Limited and Wired Audio Technology Limited. All rights Reserved.

Sonuus 日本総代理店

コウスキミュージックアンドサウンド株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 3-40-12

TEL : 03-3330-1232 FAX : 03-3339-5653 E-mail : info@kohske.com

ホームページ <http://www.kohske.com/sonuus/>